

2026年度 松江小学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長 川野 一郎 作成日 2026年4月17日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 学力を定着させてほしい
- 楽しく登校できる学校にしてほしい
- やさしい子供に育ててほしい
- 地域に誇りをもってほしい

【学 校 教 育 目 標】

「よく感じ、よく考え、よく行う」子どもを育てる

【めざす児童（生徒）像】

- ・自ら課題を見つけねばり強く追及する子
- ・思いやりがあり助け合う子
- ・感謝の気持ちを大切にしている子
- ・柔軟で体力ある子
- ・進んで実行する子

前年度の学校評価

- 確かな学力の定着に尽力が必要
- 伝統として豊かな心と体の育成に今後とも尽力が必要
- 地域との結びつきは強く継続を！

児童（生徒）の実態

- 概ね決まった時刻に登校できている
- きまりを守り、素直な子が多い
- 「書くこと」に抵抗がある子がいる
- 家庭学習や自主学習は概ねできているが、定着していない子への対応が課題

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎基本の確かな定着
- ◎自ら考える深い学びの推進
- 自主学習の定着
- 読書活動の推進

具体的な取組

- 自ら学習課題を見つけ、解決しようとする態度を養う
- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3ヶ条」に根差した授業を行う
- 全児童に自主学習ノートを持たせ、自主学習を推進する
- 図書室の環境整備に努め、本の増書や読書の機会を増やしていく

指標

- 全国学調、県学習到達度で、県平均を上回る
- 勉強がわかる（児童85%）

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの早期発見・組織対応
- 仲間づくりの充実
- 挨拶運動の推進

- 道徳・人権教育の研究校として、中心となれるよう授業改善（ICT活用）に努める
- いじめアンケートを基に、いじめの早期発見に努め、全職員で問題を共通理解し、組織的な対応を図る
- ペア活動等を積極的に活用し、他学年の児童との関わりを増やす
- 常日頃から挨拶を促す

- 道徳の授業が楽しい90%
- 学校が楽しい95%
- いじめの解消100%

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- 早寝、早起き、朝ご飯 運動の推進
- 体育学習の充実

- 持久走の記録やなわとびの記録などを複数回実施し、発達段階に応じて運動する機会を増やしていく
- 早寝、早起き、朝ご飯運動を奨励する
- 夢中になって運動に取り組めるよう、教材教具の工夫を図る
- さらに交通マナーの啓発を図っていく

- 朝ご飯の摂取率100%
- 体育が楽しい80%

地域とともにある学校

- ◎学校情報の積極的な発信
- ◎地域の資源の積極的な活用
- 地域の歴史学習を推進

- 学校便りやホームページを通して積極的に学校情報を発信する
- 地域のパトロール隊、老人会、婦人会との交流を一層深める
- 総合的な学習の時間などを通して、すすんで地域の歴史を学ぶ機会を設ける

- 家庭・地域との連携（保護者90%）
- 学校の情報がよく伝わった（保護者80%）

◎：特に重点的に取り組むこと